

# 二〇一六年度 入学試験問題

## 国語

### 第一回

#### 【注意】

- ・試験時間は五〇分です。（八時四五分～九時三五分）
- ・問題は一ページから八ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・記号・句読点がある場合は字数に含みます。<sup>ふく</sup>
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

---

60

55

50

45

40

35

**問一** (1) 「ガラス張りの状態」とありますが、これはどのような生き方ですか。三行以内で説明しなさい。

**問一** (2) 「まだ特別な内面性を形成し遂げる以前の状態」とありますが、

これを成し遂げた後とはどのような状態ですか。三行以内で説明しなさい。

**問三** (3) 「自分自身を見捨てる」とありますが、これはどのようなことですか。三行以内で説明しなさい。

**問四** (4) 「『正直』であるため」に筆者は何が必要であると述べていますか。四行以内で説明しなさい。

問五

——(5)「私たちには『自分自身に対してとらわれず自由な態度』をもつ可能性も残されている」とあります。それはどういうことですか。その説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 嘘(うそ)をついた相手と互いに信じあうことができれば、いかなる場合でも自分のおかした失敗を許してもらえるはずであると期待できるということ。

イ 嘘をついた相手に対して人間関係をあきらめたり、冷たい仕打ちをされたりすることを心配せず、自分の信念を通せば関係の修復が見込めるということ。

ウ 自分のしたことは正しいという思い込みを捨てることができれば、他人の批判を気にせずに自分に素直に過ごすことが可能になると

いうこと。

エ 嘘をついた相手に対する思い込みや恐れにとらわれることなく、自分が自分らしくあることを信じて行動すれば自由を失うことはないということ。

問六

筆者の述べる「正直」の例にあてはまるものはどれですか。最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 料理が苦手なお母さんが栄養面を考えて一生懸命に作ってくれた料理に対して、子どもが「この料理はまずい」と言う。

イ 仕事で自分が失敗した際に同僚の手前その場しのぎのことを言ったが、上司に隠し事はしたくなかったので、報告する。

ウ スポーツの試合に勝ったとき、自分の努力が実った嬉しさを隠すことなく、負けた相手の目の前でチームメイトと大喜びする。

エ 悪かったテストの点数を保護者に伝えると心配をかけてしまって報告せず、その代わりに次のテストに向けて一生懸命努力する。

問七

A  D に入れる語としてふさわしいものを、次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし同じ記号は二度以上使えません。)

ア そして イ しかし ウ あるいは エ つまり

問八 ——ア～オのカタカナを漢字に直しなさい。

本文の内容に合うものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 絶対に嘘(うそ)をつかないということは、状況をすべて把握しきれない

ような場合でも、自分が信じていることをゆるがせることなく本心から発言することである。

イ 状況や相手に左右されることなく自分の信じていることを必ず言えられるようなことである。

ウ 自分自身がどんな時もだれにも嘘をつかないと心に決めていたとしても、社会のなかでは嘘をつくことは認められているので時と場合によっては嘘をついてもいい。

エ 嘘をついた相手との仲を思つて後から本当の話をしようと考え直した場合、相手がどのような反応をするかわからなくとも本当の話をするのが自分を大切にすることだ。

②次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

20

15

10

5

---

55

50

45

40

35

30

25

85

80

75

70

65

60

---

120

115

110

105

100

95

90

155

150

145

140

135

130

125

---

185

180

175

170

165

160

### 問三

——(3)「山がそこにあるんだけど、登り方がわからないというか、道が見つからないというか」とあります、ヤマネが言おうとしていることはどのようなことですか。説明として最もふさわしいものを、次のアリエの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア この先どうすればいいのか見通しが立たず、何もできないまま時間がたっているということ。

イ 自分が取り組むべきことは決まっているが、どう実現すればいいのか方法がわからないということ。

ウ いつかやるべきことはわかっているのに、時間の感覚を失ってしまって実現が難しいということ。

エ 目の前に立ちはだかる難題があつて、それを克服するための方法が見つからないということ。

### 問四

——(4)「講座に参加していたときに読んだ本に書かれていた、『お雇い外国人』の調査をしたグリフィスの手紙の一文が、頭の中に響いた」とありますが、このときヤマネはどのようなことを思っていますか。三行以内で説明しなさい。

——(5)「入り組んだ海岸線の見晴らしのいい場所から海を見下ろした写真が入っていた」とありますが、「海」に関係する次のI～IVの慣用句やことわざの□I～□IVに入る言葉を書きなさい。( ) 内はそれぞれの意味を表します。答えはひらがなでも構いません。

I 井の中の□I 大海を知らず

(世の中のことを知らず、考えのせまい人のたとえ)

II 海のものとも□II のものともつかない

(ものごとの正体がつかめず、結果がどうなるか見当がつかない)

III えびで□III をつる (小さな元手で大きな利益を得る)

IV 魚心あれば□IV

(相手が好意を示せば、こちらも好意をもつて応える気になる)

### 問五

——(1)「五人の話した声は、秋のほどよい温度の空気に拡散していく」とあります、『話した声』が『空気に拡散していく』とはどちらのことでですか。二行以内で説明しなさい。

——(2)「七坂が口ヶ地探しで訪れた家のことを話していた。」とあります、この口ヶ地探しを通して七坂はどうなことを最も強く感じましたか。四行以内で説明しなさい。

## 問六

——(6)「窓の外に広がる明るい水色の空は、ほんの少しづつ色を変え  
ていった。」とあります。この風景はどうなことを意味していま  
すか。説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、  
記号で答えなさい。

ア 晴れた昼の空の様子であることから、ヤマネだけでなく七坂や受  
講生たちがそれ抱えていた悩みがこれから解消されていくと  
いうこと。

イ 空の色が時間が経つて少しづつ変化していることから、ヤマネと  
七坂や受講生たちとの関係性がこれからも少しづつ変わっていく  
ということ。

ウ 水色の空が何色に変化するのか語られていないことから、ヤマネ  
がこの先どのように小説と向き合うのかはまだ不明であるとい  
うこと。

エ 昼の空の色から夕暮れの空の色に変化していることから、ヤマネ  
の小説を書き続けていられる時間の限界が刻々と迫っているとい  
うこと。

## 問七

A  D

ア～タの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし同じ記号は  
二度以上使えません。)

|        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| A ろのろ  | イ のんびり | ウ ずらり  | エ ちかちか  |
| オ いらいら | カ がんがん | キ ぱらぱら | ク ちゃっかり |
| ケ げらげら | コ うつとり | サ つるり  | シ いきいき  |
| ス かたかた | セ ぺこぺこ | ソ がらん  | タ どんどん  |

## 問八

本文の内容に合うものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答え  
なさい。

ア ヤマネは七坂が行つた家の話からかつて見た写真に写る人物のこ  
とを、また夕暮れが近づいていることからかつて見た手紙の言葉  
のことを思い出しており、見聞きしたことから連想を広げながら  
歩いている。

イ 玉川上水沿いを七坂と話しながら歩くなかで、ヤマネは自分が以  
前書いた五分間だけ散歩する小説の内容や、その小説を書いてい  
た時に考えていたことが読者の記憶にはつきりと残ると確信して  
いる。

ウ 玉川上水沿いを歩きながら、ヤマネと七坂と丘ノ上と湯元と辻の  
五人はお互いに話しているが、彼らの話はきちんと筋道だったも  
のではなく、それぞれが思いついたことを思いのままに話してい  
る。

エ 入江が企画した映画のイベントのために七坂が滞在している島の  
外の景色を映してほしいとヤマネが頼むのは、それぞれがいる場  
所についての記録を残したいと思ったからである。





